

令和2年度 第5回真庭市総合計画審議会 議事概要

日時：令和2年11月5日（木）
18時30分～20時00分
場所：真庭市役所本庁舎2階会議室
参加者：別紙のとおり

1 開 会

2 議題

（会議の答申について）

- ・ パブリックコメントをしていただいた方には膨大な資料を読んでいただいたことに対して敬意を払わなければならない。コメントにもあるようにしっかりと周知してもらいたい。
→ダイジェスト版を作り、よりみなさんにわかりやすくしたものをつくっていきたい。
- ・ 中学校での地元教育の大事さについてご意見あったと思う。その点が記載されていない。

－追記修正は、会長一任ということで承認－

（委員から今までの議論の感想）

- ・ 様々な意見をいつてきたが、取り入れていただき、素晴らしい計画になっていると感じる。
- ・ 住民に理解し協力いただけるものとして進めていただくようお願いしたい。
- ・ 働く場所・コミュニティは絶対必要。既存の考えだけでなく、あたらしいアイデアがでてくるといい。
- ・ このような計画づくりに携わることは光栄だと思う。
- ・ 全般的にやや財源の面の議論がなかったのではないか。依存財源が多い状況であると認識している。あれもこれも計画に上がっているが、できないこともあると思う。言いにくいですが、誰かができないといわなければならないことも出てくると思う。
- ・ 真庭市において、市役所が一番大きな事業体としての自覚を持ち、女性登用など率先的に行って他の事業者の手本となるように施策をやっていただきたい。
- ・ ワークショップについて、昔ほど突拍子もない意見がでなくなっていると感じた。熟成されてきたことなどあるかもしれないが、広報誌を見てそのまま意見をいつているような感も受ける。地元で思いを持って何かを取組んでいる人はまだたくさんいると思う。そのような人の声をきちんと聞いていかなければならない。
- ・ 文化芸術に関しては、コロナになって、演奏の仕方から何から、自分が思っている以上に広がってしまった。表現として非常に難しい。
- ・ 真庭を第一次産業が支えるという熱意を見せていかなければと感じている。行政とJAがしっかりと連携して熱意を持ってやってほしい。
- ・ 内需拡大が重要であり、そのためには、全分野の人が、一丁目一番町である子どもをたくさんつくることに関心を持つべきである。学校の部活動がなくなってきたと聞いて、大変な事態になっていると衝撃を受けた。子どもが少なくなるというのは、スポーツをするにしても選択肢が少なくなっている。子供がいない地域は大変である。
- ・ 真庭市は教育関連の予算は多いと感じている。高等学校の話、ハードの部分はいいが、

通学に関してどうするのか、このあたりのことも計画に書かれているとおりお願いしたい。

- 具体的事業を実施して、目標達成していくことが大切。定期的にフォローをしていくということを理解した。
- 今回の計画では、結婚して子どもをつくる点、踏み込んだ記述になっている。結婚という言葉が新しく入ってきたのは大きい。真庭に行けば、だれでも結婚できるというイメージになるくらい結婚支援をしていけるようになればと思う。
- 住んでよかったと感じていただけるお母さん方をいかにつくるかが大切と思う。それには、身近に小さくてもいいから集まって遊ぶところが必要だと思う。真庭市として力をいただきたい。
- この会について、もっと 30、40 代くらいの若い方が入って欲しかった。幅広く人材を集めて色々な意見を聞いてほしい。
- 活発な意見がでて総合計画としても膨大なものができていると感じる。コロナで 5 年 10 年どのように変わっていくのか見通せない中、CAPD サイクルを回して何とか実行していただきたい。
- 人口は真庭市全体の問題。この計画ができたら、行動に移すしかない。様々な関係団体などの協力を仰ぎながら、行動に移していきたい。高齢者福祉は充実していると感じるが、子どもが生まれない点は本当に問題。1 に行動、2 に行動、3 に行動である。
- SDGs は同じ価値観を持ってやっていけるものであり、産業も SDGs のパートナーなので協力を模索していきたい。

6 その他

11 月 9 日に答申を市長に出す。会長と副会長で対応する。

7 閉会